

会報 いずみ 第46号

発行/いずみ会 編集/いずみ会広報部
〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-3-1 都立大泉高等学校内
ホームページ <http://www.izumikai.net>

主な記事

- 2~4 執行部関係
- 5 母校関係
- 6 恩師近況
- 7 修学旅行・HR合宿
- 8~11 同期会日より 他
- 12 ご案内

変革社会での「自己実現」

母校六十周年記念式典・祝賀会

祝賀会実行委員 廣川和男(高10期)

昨年創立六十周年を迎えた母校では、10月13日午前10時から体育館において記念式典と記念行事が行われました。ついで午後1時からトレーニングルームでPTAが中心になって祝賀会が催されました。

当会は、役員が式典と行事に招かれて参列するとともに、祝賀会のための実行委員会に役員数名が参画して祝宴開催等に協力しました。会費制がとられた祝賀会には、周年協賛事業に協賛していただいた当会の有志約七十名が出席しました。

式典は、国旗と都のシンボルマーク(銀杏葉)が正面に掲げられたなか、全日制と定時制の在校生が中央に並び、教職員、来賓、同窓会・PTA関係者が左右に列席して、国歌斉唱で始まりました。冒頭の式辞のなかで高橋校長は「高い理想をもって自らを向上させ、期待に応えていく大泉の良い伝統を継承して、生徒

の自己実現に助力していきたい」と抱負を述べられました。

都教育庁、旧教職員等を代表する来賓からの祝辞や挨拶があつてから、在校生のスピーチがありました。全日制代表は、六十年前の暗い世相に思いを馳せて「今だからこそ個のアイデンティティーを確立し、世の不正を正していきたい」と述べました。続いて壇上に立った定時制代表からは、働きながら学べる嬉しさといったのスピーチがありました。「中学では、不良少年のように過ごしたため、高校へ進学できるわけもなく、親に言われるまま各種学校へ行って調理師になった。ハンセン病の国立療養所・全生園で給食の仕事をして

いるなかで、ある医師から医療の話聞き、未知の世界に魅せられて医者になりたくなった。十七歳での決意で遠回りみたいになってしまったが、自分で人生を変えてみたい。やり直しの試みができる、大泉高校は素晴らしい処だと思う」

いち早く全日制生徒の中から拍手が起き上がり、みるまに万雷の拍手となって響き渡りました。現実の社会体験に裏付けられ、地に足の着いた内容が、なかでも際立った爽快さと迫力をもって人々の胸を熱くし、式典は最高潮に達しました。

校歌斉唱で閉式となり、そのまま

記念行事へ移って、NHK報道局の池上彰主幹(高21期)による講演と在校生吹奏楽部の演奏がありました。プラス演奏が力強く、爽やかに鳴り響くのにふさわしいように、会場の外は快晴の秋晴れでした。

祝賀会は現旧の教職員、PTA関係者等あわせて二百数十名が集まって始まり、六十周年記念に桜の苗木と植栽費用を母校へ贈呈する目録が祝賀会実行委員長から高橋校長へ手渡されました。この贈呈には当会有志の方々からの協賛金も入っております。植栽された若木は、この春、桜並木の中で咲き揃っていました。

祝宴はこもかぶりの鏡開きで始まり、黒塗り特製記念餅で祝いの美酒が酌み交わされていきました。当会のOBOG合唱団から練習曲の披露があつた後、歓談が会場全体に盛り上がりつついき、終宴は昔懐かしい手振りの予鈴で締められました。

母校の校章は、ありきたりの校の紋章をコペルニクス的に一八〇度転回させていて、安定感よりも躍動感を、「進取」「自主創造」が教育目標にされてきました。当日の諸行事

母校・大泉高校はどう変わるか 中高一貫教育校への変革案提示

去る6月27日、東京都教育庁は、高橋校長に対し、今秋に策定予定の都立高新配置計画案を提示しました。この計画の中で、大泉高校は小石川、両国など8校とともに中高一貫教育校の対象とされています。

中高一貫教育校の形態としては、

を通じてみると、生徒のスピーチがけだるくなりかけた式典を引締めたことや、ほとんどの生徒が式典に力強いジュアルな服装で臨み、一部の生徒が国歌斉唱のとき着席のまま口をつぐんでいたこと等に、ありきたりでない斬新さがありました。前例踏襲の安易な姿勢を打破しつつも、内外の社会に真に調和する自己実現を目指して、建学の精神をさらに躍動させていってほしいと思えました。

*HPに当日の詳細な報告があります。併せてご覧ください。(広報部)

都立高校を6年制の都立中等教育学校に改編する案と、都立高校に都立中学を併設する案があり、各校の教育内容の検討を踏まえて決定するものとされています。

本紙が発行される頃には、更に検討が進んでいると思われるが、都立大泉高校については平成22年度中学入学生から実施する予定としており、今後の動きが注目されます。



桜の苗木(目録)を贈呈

本年度
いずみ会総会・懇親会 10月27日(日) 午後1時
母校にて開催(詳細は12面に)

幹事総会報告

平成14年6月16日(日)午後2時より、母校会議室において定時幹事総会が開催されました。司会の山本氏(高30期)の進行により、会長挨拶(代理茂木副会長)、議事録署名人藤田氏・高10期、浦田氏・高14期)の選任のあと、議長に野島陽子氏(高28期)が選出され、議事に入りました。まず、平成13年度事業報告および決算報告について、土肥理事及び廣川理事より報告があり、母校六十周年の記念事業の収支についての質疑のあと、春日監査役から、監査報告があり、異議なく承認されました。

次いで、平成14年度事業計画案、予算案について同様に説明があり、総会参加費についての質疑のあと、

異議なく承認されました。3番目に、いずみ会規則の改正案について、大場理事から、ホームページの開設に伴い、従来の「会報部」の名称を「広報部」に変更するとの説明があり、異議なく承認されました。

4番目に、役員改選が諮られ、大場理事より次のような経緯の説明がありました。

「次期役員選挙の公告を、いずみ会会報45号に掲載。立候補および推薦の締切日の平成14年1月末日時点で、役員の数足を満たす届出があった。その後、本人の事情により、辞退者が数名生じ、会長および理事の候補者数が定数を下回る事になった。そこで、理事会で審議し、幹事総会の通知で会長と理事の再募集を行う旨を幹事全員にお知らせしたものである。」

この説明に引き続き、候補者の紹介があり、議長より、新役員候補に対し承認が求められ、満場異議なく拍手にて承認されました。

ここで、鈴木幹事(高16期)から、「田中前会長は10年間の永きに亘って新生いずみ会の発展に尽くされた。名誉会長の称号を贈ることを提案する。」との動議が出され、審議の結果、田中前会長を規約第21条に規定する「顧問」に推挙することが承認されました。

次いで、報告事項に入り、総務・企画部、会報部、名簿部、会計部、母校関係、母校六十周年記念事業関係の報告と、「2の会」出席幹事全員紹介がありました。

その後、昨年から継続審議事項や議事録について質問があり、最後

に新役員を代表し、石井会長、加藤副会長、角原副会長から挨拶があり、総会は閉会となりました。

総会閉会后、引き続き懇親会が開催され、出席幹事が和やかに懇談しました。

事務局幹事募集

いずみ会では、総務・名簿・会計・広報の各部門について、お手伝いをしてくださる方々を求めています。年齢制限はありません。(手当もあり)

ません)

同窓会運営にはさまざまな職種の方を見ることがあります。卒業生が集まっており、社会の小断片をのぞくことができます。大泉高校の「同窓の飯を食った」先輩たち後輩たちと楽しく仕事をしてみませんか!

定時幹事総会 出席者一覧(敬称略)

登録幹事総数: 612名	出席幹事数: 57名	委任状提出幹事数: 193名
(幹事)中1期: 春日孟、小川喜卯六、高2期: 桜井宏、高3期: 仙田陽一、高5期: 嶋正彦、青山喜彦、高6期: 梅澤やよひ、高橋保孝、篠匡昭、今村邦夫、石井岱三、有田二郎、高7期: 山田清子、高8期: 茂木光男、堤美穂子、高9期: 湊弘子、武市則昭、大軒史子、相原英子、清水信、高10期: 角原佑一、小川皓司、藤田肇、野口悦子、保延義夫、西谷和子、高11期: 富田順子、真田宗興、椎葉亮一、北上俊人、村井千枝、広瀬芳子、加藤勇、高12期: 相川光夫、高13期: 山本章義、丸山和郎、高14期: 浦田佐恵子、布施百合子、高16期: 大場修一、鈴木哲、高18期: 杉山明美、高20期: 讃井正光、川口章子、土肥暁美、菊池素子、高21期: 若林和子、高22期: 河北康子、高27期: 宇野伸一、飯田良弘、高28期: 野島陽子、高29期: 大久保瑠、高30期: 山本孝文: 高31期: 和藤真由子、高瀬浩和、原秀年、高32期: 仲沢浩一、高44期: 伊東よりこ(以上幹事57名)高3期: 宮寺秀雄、高6期: 村井和郎、井上暉夫、高9期: 須藤一彦、高10期: 長島慶子、廣川和男、井上康子、高22期: 肥沼年光、高52期: 関島雄太郎(以上会員9名) 合計66名		

平成14年度 収支予算

収入の部 (単位: 円)		支出の部	
1 新入会員入会金 (280人)	1,400,000	1 総会費	505,000
2 本年度分会費 (2327人)	2,327,000	2 役員、幹事会合費	340,000
3 本年度分寄付	685,500	3 監査役会費	10,000
4 雑収入	50,000	4 広報費	2,690,000
5 2000年名簿等売上	90,000	5 会費徴収経費	102,090
6 総会参加費	375,000	6 名簿調査管理費	220,000
当期収入合計	4,927,500	7 母校連絡費	180,000
支出の部		8 新会員活性費	70,000
1 総会費	505,000	9 雑費	50,000
2 役員、幹事会合費	340,000	10 名簿積立金支出(次回分)	200,000
3 監査役会費	10,000	11 予備費	100,000
4 広報費	2,690,000	12 設備、什器、備品費	138,200
5 会費徴収経費	102,090	13 総務部業務委託費	600,000
6 名簿調査管理費	220,000	当期支出合計	5,205,290
7 母校連絡費	180,000	当期収支の部	
8 新会員活性費	70,000	1 当期収入合計	4,927,500
9 雑費	50,000	2 当期支出合計	5,205,290
10 名簿積立金支出(次回分)	200,000	当期収支差額	△ 277,790
11 予備費	100,000	前期繰越金	
12 設備、什器、備品費	138,200	前期繰越金	8,815,473
13 総務部業務委託費	600,000	次期繰越金	
当期支出合計	5,205,290	次期繰越金	8,537,683

平成13年度 収支決算

収入の部 (単位: 円)		支出の部	
1 新入会員入会金 (290人)	1,450,000	1 総会費	480,812
2 本年度分会費 (2589人)	2,589,000	2 役員、幹事会合費	283,700
3 本年度分寄付	695,000	3 監査役会費	9,950
4 雑収入	44,107	4 広報費	2,357,096
5 2000年名簿等売上	173,500	5 会費徴収経費	111,605
6 総会参加費	422,500	6 名簿調査管理費	134,910
当期収入合計	5,374,107	7 母校連絡費	156,061
支出の部		8 新会員活性費	36,877
1 総会費	480,812	9 雑費	38,917
2 役員、幹事会合費	283,700	10 名簿積立金支出(次回分)	200,000
3 監査役会費	9,950	11 予備費	16,380
4 広報費	2,357,096	12 設備、什器、備品費	327,193
5 会費徴収経費	111,605	13 総務部業務委託費	218,394
6 名簿調査管理費	134,910	当期支出合計	4,371,895
7 母校連絡費	156,061	当期収支の部	
8 新会員活性費	36,877	1 当期収入合計	5,374,107
9 雑費	38,917	2 当期支出合計	4,371,895
10 名簿積立金支出(次回分)	200,000	当期収支差額	1,002,212
11 予備費	16,380	前期繰越金	
12 設備、什器、備品費	327,193	前期繰越金	7,813,261
13 総務部業務委託費	218,394	次期繰越金	
当期支出合計	4,371,895	次期繰越金	8,815,473

母校60周年記念協賛事業 収支決算

収入の部 (単位: 円)	
1 寄付(平成12年度)	1,779,000
2 寄付(平成13年度)	348,000
収入合計	2,127,000
支出の部	
1 口座振替手数料	30,710
2 母校へ寄付	1,000,000
3 上記の手数料	735
4 いずみの広場工事費	301,100
5 記念誌購入・送付代	171,665
6 祝賀会案内印刷・発送費	54,306
7 会議・文具・その他	59,894
支出合計	1,618,410
収支の部	
収入合計	2,127,000
支出合計	1,618,410
母校より返金	424,638
剰余金	933,228

いずみ会財産目録

(2002.3.31現在 単位: 円)	
一般会計次期繰越金	8,815,473
前受会費等及び利息	16,505,107
前受金 60周年剰余金	933,228
名簿発行引当金	2,943,232
合計	29,197,040
同窓会名簿(2000年発行)	1,008冊
パソコン(購入分)	3台
プリンター	1台
パソコン(リース分)	2台

会長挨拶



この度、同窓会「いずみ会」の幹事総会にて会長に就任致しました石井岱三でございます。

高校6期の卒業で埼玉県飯能市より通学し、現在も同市に住居すること66年です。当時(昭和26年入学)は木造の電車で90分くらい通学にかり、畑の中にある高校に通いました。校舎も木造二階建てに平屋のバラック建てが一棟と広いグラウンドが、アンパランスに見えたものです。

現在の校門から玄関までの桜並木は私たちの時代からあったものです。久しぶりに桜並木の下を通ると思い出深いものを感じました。同時に伝統ある大泉高校の存在と重たさを感じております。

私も浦島太郎のようなもので卒業してから学校に足を運んだことが数回ぐらいしかなく、現在までの会の状況については全くと言ってよいほど知識がないことに不安を感じております。幸いなことに「大泉が大好き」といわれた理事さんたちがおり、また同窓会を熟知していることが私にとって何よりのことと思ひ安堵しております。

会の運営も少子高齢化時代の波に影響されて先が読みにくい部分もあり、後輩たちの安全確保に努めました。

石井岱三(高6期)

るようですが、理事さんたちと十分話し合いをして、創意工夫をしながら方向付けをして行ければと考えております。

大泉高校も中高一貫の指定校となり平成22年開校予定で中学校舎等の建設など発展計画もあるように聞いております。教育の改革期のなかで同窓会のあり方についても視野に入れて考える時期であるとも考えております。同窓会の皆様方にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

退任の挨拶

前会長 田中英道

平成4年、「新生いずみ会」の発足時に会長に推挙され、「開かれたいずみ会」を基本理念に若い会員と活動して参りました。規約改正、会費制導入による財政基盤の確立、組織の構造改革等を行い、年1回の総会を「*の会」による企画運営で、参加会員数が飛躍的に増大しました。自主創造の母校の教えを受け継ぎ、自信と誇りを持った会員各位のいずみ会活動への参加により、和やかで愛されるいずみ会が育まれました。この10年間に、いずみ会創立50周年、母校創立60周年記念事業も計画され、盛大に挙行されました。また昨年は将来の母校資料館の礎となるべき『いずみの広場』が完成し、また長年、練馬区への陳情を続けてきた校門前通学路の拡幅整備工事も終わりと致しました。

新役員紹介

会長	石井 岱三(高6期)
副会長	角原 佑一(高10期)
副会長	加藤 勇(高11期)
副会長	大場 修一(高16期)
事務局長	高橋 保孝(高6期)
総務部長	土肥 暁美(高20期)
名簿部長	大軒 史子(高9期)
会計部長	今村 邦夫(高6期)
広報部長	北上 俊人(高11期)
理事(総務)	菊谷 義美(中2期)
理事(総務)	桜井 宏(高2期)
理事(総務)	村井 和郎(高6期)
理事(広報)	須藤 一彦(高9期)
理事(総務)	田島 寛(高10期)
理事(会計)	戸田 一誠(高13期)
理事(名簿)	野島 陽子(高28期)
理事(広報)	大久保 靖(高29期)
理事(名簿)	原 秀年(高31期)
理事(広報)	仲沢 浩一(高32期)
監査役	遠藤 寛(高7期)
監査役	廣川 和男(高10期)
監査役	鈴木 哲(高16期)



ここに、無事10年間会長を続けてこられたことを感謝し、母校の益々の発展といずみ会の隆盛を期待してやまないことを表明して退任の挨拶と致します。

平成13年度 活動報告

- 平成13年6月9日(土)、母校会議室にて定時幹事総会が開催され、平成12年度事業報告・決算、平成13年度事業計画・予算案が承認され、同期会の活性化策等に関して、活発な議論が交わされました。
- 10月1日、「会報いずみ」第45号を発行し、ホームページの開設やいずみの広場、母校及び恩師の近況などの記事を掲載し、全会員に送付しました。
- 11月11日(日)、いずみ会の総会・懇親会を母校にて開催しました。懇親会は旧制中学の卒業生、及び卒業期の下一桁が1の期が「1の会」を結成して、企画立案・運営にあたり、会員・恩師合わせて180名余が出席しました。
- 平成12年3月に開設したホームページの更なる充実を図りました。恩師の近況、住所不明者一覧等を掲載した結果、平成14年4月までに約1200件のアク

- セスがあり、住所情報も52件寄せられました。
- 例年3月に開催していた名簿幹事懇親会を、7月・10月・3月の3回に分けて開催し、名簿修正作業や名簿データの取り扱いについて討議しました。
- 母校との連携強化を図るため、7月14日(土)に母校との懇親会を開催し、60周年記念協賛事業の協力態勢等について懇談しました。
- 母校文化祭で、文京女子大学教授・山下泰子氏(高9期)の記念講演(演題「21世紀をどう生きるか - 一男女共同参画社会の実現に向けて -」)を開催し、好評を得ました。
- 母校創立60周年を記念し、「いずみの広場」開設等の記念事業を実施したほか、10月13日(土)には、記念式典のあとの記念祝賀会を共催し、還暦を迎えた母校を祝いました。

平成14年度 事業計画

- 総会を、平成14年10月27日(日)母校にて開催予定。総会後の懇親会の企画立案・運営については、高校卒業期の下一桁が2の期による「2の会」が担当します。
- 定時幹事総会を、6月16日(日)母校にて開催。(別記事参照)
- 会報いずみ第46号を、9月に発行します。(本紙)
- 名簿情報の整備のため、名簿幹事の集いを年3回開催し、住所不明者の判明率の向上を図り、インターネットを通じての情報にも積極的に対応します。
- 会員との情報交換の拡充のため、いずみ会ホームページの更新サイクルを高め、同期会等の開催案内を掲載し、会員相互の交流を応援します。
- 母校の完全週休2日制の施行等に伴い、従来以上に緊密な連携を保つこととします。
- 新幹事(高54期)および若手幹事との協力態勢の強化に努めます。
- 新卒業生に対し、入会式を行い会員、幹事としての自覚を促します。
- 会費納入率を高めるため、HPによる啓蒙や納入方法の改善等の方策を検討します。
- 事務作業の外部委託により、事務局体制を拡充します。

平成13年度いずみ会

総会・懇親会報告

昨年度のいずみ会総会・懇親会は、例年よりやや遅めの平成13年11月11日に母校で開催され、一七七名の会員と一六名の恩師の先生方が出席しました。

午後1時から、視聴覚室で総会が開催され、田中会長から挨拶があり、

10月13日に創立六十周年記念事業が盛大に開催されたこと、図書室に隣接して「いずみの広場」が整備されたこと等の活動報告がありました。

総会に引き続き、会場を円形校舎食堂に移し、旧制中期及び卒業期の下一桁が1の期の「1の会」が企画・運営する懇親会が開催されました。

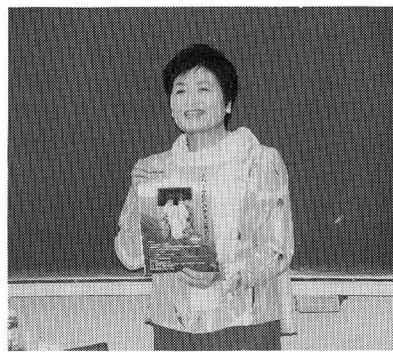
文化祭講演報告

平成13年9月23日午後、山下泰子さん(高9期)の、「21世紀をどう生きるかー男女共同参画社会の実現に向けて」と題する講演が行われました。昭和29年に高校生だった山下さんは、生徒会選挙のあり方に疑問を感じ、その是正を訴え、自ら生徒会長に就任して、様々な改革に取り組みました。大学卒業後の就職時に初めて出会った男女差別の実態、この現実が山下さんを男女差別解消のための戦いに駆り立てたのです。

「世界には、女性に教育の場が開かれていない国がまだまだ多く、輸出の人手一つにも仕上がりがある章で指定されているので、文字の読めない女性たちは就業先も限定され、いつまでも底辺の生活から抜け出すことができない。男女が人間として同等に生きることが、国家の繁栄に

つながるものなのにな……」山下さんはこう語りつつ、総理府発行「人間開発に関する指標の国際比較表」などの資料をもとに、わが国の状況を説明されました。

「人間開発指数」(平均寿命・教育水準・国民所得より算出)では、日本は、カナダ・ノルウェー・米国につき、世界第4位(174カ国中)であるのに、「ジェンダー・エンパワメント測定」所得、及び、専門技術職、行政職管理職、国会議員などへの女性の占める割合により算出IIでは、世界38位(102カ国中。1999年調査)と下がり、この不平等の現実には「男性の方が優遇されていると思う」という意識調査の数字(男女とも7割超)にも反映され、その他、夫婦別姓の問題・交通事故に遭った小学生の「逸失利益」



における男女差別・大泉高校の出席簿もいまだに男子が先等々、これらの事柄を当たり前と思ってしまうことが問題、という指摘には考えさせられることが多くありました。

講演会の開かれた当日は文化祭二日目、いちばん話を聞いてほしかった在校生は後かたづけで忙しくて出席できず残念でした。なお、山下さんはこの日「女性差別撤廃条約の研究」など数冊の著書を、「いずみ会文庫」に寄贈されました。

「1の会」報告

1の会会長 関根強一(高11期)

1のつく日程にも気合いの程が感じられ、最若手の高51期(！)幹事の水藤君・平野さんの初々しい司会で、「いいつき・いいひ。たまには来いよ、大泉」のキャッチフレーズのもとに、生ビールに美味しい料理で、懇談に花が咲きました。

高校時代の部活や、趣味、現在の夢を記入した名札をつけた参加者は、会場の壁に貼られた恩師からの葉書を見たり、ホームページのデモンストレーションを覗いたりして、懐かしさにひたり、楽しい時を過ごし、締めくくりには「2の会」への引継がなされ、記念写真の後、盛大に散会しました。

2001年11月11日の総会に続く懇親会の世話役として、「1の会」では6回の集まりを持ちました。「いい月いい日」「たまには来いよ、大泉」というキャッチフレーズが決まり、旧制中期の経験豊かな幹事諸氏から若い期の幹事諸君までの協力態勢が回を重ねるごとに整ってゆきました。

その会合においての中心的な課題は、「年齢差の開いている会員同士がどうしたら交流できるか」、「30歳代以下の若い会員の参加をどうしたら促進できるか」などで、どれも難問でしたが果敢に取り組みました。そのアイディアの1つが、「名札」の活用でした。果たして、それを読み合

った見ず知らずの会員同士が同じ部に属していたことが分かり、この出会いをきっかけとして、後日いくつかの会が催されたと聞いております。

司会役の若い二人は、ともに音楽に打ち込んでいる学生で、会全体を爽やかに仕切ってくれました。出席された皆さんが、かつての高校生に戻って心を和ませ、充分に楽しんでくださったようで、幹事一同ホッとしました。

入会式報告

2002年3月13日の卒業式に先立つ3月12日の卒業式予行の機会を

利用して、例年のおり同窓会入会式が、体育館アリーナでおこなわれました。田中会長が、同窓会のあらましと意義とを全卒業生に話したあと、大場副会長の介添えて、新幹事一人一人の名前を呼び登壇してもらい、顔見せをしました。ことしは意欲的というべきか、幹事が23人選ば

れました。しかし規約上は人数オーバーなので、後日話し合いで人数を調整することが大場副会長から説明されました。別掲の幹事リストは調整後の高54期の幹事です。若さというパワーを新幹事諸君に存分に発揮してもらえらるものと期待します。

高54期 幹事一覧

- 1組 太江 恵
- 2組 卓也 紀
- 3組 潤 利子
- 4組 智紀 美
- 5組 哲哉 香緒里
- 6組 翔平 佳代
- 7組 裕也 奈子



恩師近況

篠原 昭雄 先生

社会 S 39 / S 45



大泉時代から三十余年も経つが、優秀な大泉生と過ごした思い出は

今も鮮明に蘇ってくる。なかでも地歴部員との消えゆく武蔵野の民家研究は、その後の私の研究の第一歩ともなった。筑波大学定年後七年間勤めたつくば国際大学を退き、今は三鷹のアジア・アフリカ文化財団、同語学院の経営と講義に携わる。

当時から私は「自らの生き方を問う人となれ」を座右の銘とし、生徒たちにも期待した。今でも各界で活躍する数多くの大泉OBと交流している。何年前か、第19期の同窓会が催された。人間的にも社会的にも素晴らしい教え子たちと接し、「さもありなん」と独り心温まる思いをした。

清水 芳彦 先生

英語 S 23 / S 38



主人は八年前に脳梗塞で近所の堀の内病院に入院しました。

二週間で退院することができましたが、以来療養生活で現在はヘルパーさんに付き添われて週一回リハビリ

りに通っております。お天気の良い日には私が車椅子を押して、黒目川のほとりを散策しております。

今の所、健康状態はまあまあです。テレビを見たり、新聞やアサヒウィクリーを読んだり、アルバムを見たり静かな生活を送っております。たまに孫が来て、習いたての英語の片言で話しかけたりしますと終始嬉しそうです。(仮名子夫人筆)

江見(長谷川) 悦子 先生

国語 S 62 / H 8



五年前の春に大泉高校を出て、この四月からは渋谷区の広尾高校

に勤務しています。様々な所で大泉高校の卒業生と一緒することも多く、いずみ会の層の厚さを感じています。

さてこの六月には、都立高校改革推進計画の一環として、大泉高校が練馬地区中高一貫6年制学校としてノミネートされました。一学期の終業式で、私は生徒達に、チェンジ・チャンス・チャレンジと、三つのCについて話しました。この改革をチャンスと捉え、高く理想を掲げて、新しい学校を作ろうとするチャレンジの姿勢こそ、大泉の自主自立の精神にかなうのではないかと思います。益々の発展を祈ります。

沼田 英一 先生

数学 S 58 / H 7



大泉高校には十三年間勤めたことになりました。卒業生なので生徒

としても三年間通した訳で実に十六年決して少ない年数ではありません。現在は都立文京高校、もう異動して七年目になってしまいました。現在二度目の担任中です。大泉では担任を三回しましたのでその生徒数だけでも約千四百人、教えた生徒はもっと多いでしょう。

現任校では大泉で最初に担任をした学年の卒業生と事務室や講師としての出会いがありました。先日は西武デパートの地下入り口で声をかけられたりもあつたりしてきつと多くの卒業生とすれ違っているのだと思います。

堤 治美 先生

体育 S 27 / S 42



「ドテさん」健在です。健康には自信があります。32歳頃「通

風」と診断され、食事に注意しビールは飲まず、ウイスキー等少々アルコール管理の生活で定年まで無事でした。70歳直前「脳梗塞」になり青天の霹靂でした。食事、運動に注意しても発症するのが不思議でした。が、適正な処置をしてもう約三週

間で退院し、リハビリ中心の毎日を過ごしています。鴨下ドクター(19期卒)に感謝、感謝。ゴルフや山歩き等卒業生から多くの誘いを受け教員冥利に感謝しながらの生活を送ります。皆様も呉々もお身体に留意され社会に貢献されますよう又、いずみ会の益々の発展を祈念いたします。

廣瀬 万喜子 先生

美術 S 49 / S 61

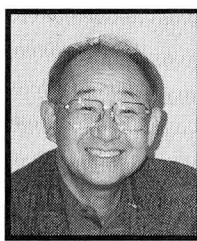


皆さんお元気ですか。私が出来立ってホヤホヤの新米教員として大泉

で過ごした懐かしい日々から、もう四半世紀がたつてしまいました。現在は、大田区にある都立雪谷高校に勤めています。最近、趣味の画廊めぐりで銀座や青山の街を歩いていると、何年ぶりかの卒業生にばつたり会うことがあります。彼女や彼の立派になった姿を見て、改めて時の流れをシビアに感じます。私があ頃の気分と何も変わっていないつもりでも、私自身、学校、そして学校をとりまく状況は大きく変化しました。体力は別として、願わくは退職まで、気持ちだけは生徒の近くに感じたいものだと思っております。

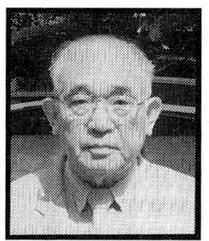
追悼

御子柴栄一先生におかれましては骨髄異形性症候群汎血球減少症(十万人に一人といわれる難病)を患い、平成十三年七月十七日ご逝去されました。享年七十一歳でした。



御子柴 栄一 先生
平成13年7月17日没
享年71歳
S 42 H 2 在勤
S 理科

「御子さん」という愛称と「かなたりきびしい」の口癖で親しまれ、授業中怒って職員室に戻ってしまった他の先生との仲裁役など、お世話になった数々が思い出されます。ご定年後は、参考書の執筆や、ご趣味であった庭木の手入れなどを精力的にこなしておられたのに「御子さん」流独特の持論をもう何う事が出来ず大変残念です。心よりご冥福をお祈りいたします (高35期 飯田高)



細川 猛 先生
平成13年12月4日没
享年75歳
S 61 在勤
S 数学

細川先生が大泉に着任されたのは昭和42年、「前任校に較べると大泉は全然勉強しないね。それでも1年余の間に勉強すれば皆さん必ず入るのだからそれもいいでしょう。」辛口なコメントでした。数学の授業は厳しく予習をしないと叱られました。授業中は数学のことしかお話になりませんが、それ以外の時には「ニコニコしながら政治、経済、防衛にまでお話を広げられることも多く私達もそれに抗して勉強しました。21期が開催した同期会に皆勤で参加もして下さいました。ご冥福を心から祈り申し上げます。合掌 (高1期 守本地)

緑 蔭

修学旅行・HR合宿

修学旅行やHR（ホームルーム）合宿は、数々の学校行事の中でも思い出として強く心に残っているものです。母校では、高校1期生から27期生まで修学旅行が実施され、3年間の中断の後、HR合宿に形を変えて現在まで続いています。その軌跡をたどってみました。

修学旅行は、新制高校になって初めての卒業生である高校1期生の代に始められました。それまでは、戦争の影響でとてもそのような行事を組むことが叶わない時代でした。終戦間もない当時の生徒たちは、自ら企画をして、中学5年のとき箱根へ1泊旅行に行きました。

旅行先は高校4期生以降、奈良・京都方面に定着しました。過熱する受験競争の世相を反映してか、実施時期は高校3年の秋から春へ、高校2年終了時の春休みへと徐々に前倒しになり、日程も初期の最長5泊6日（軍中2泊）から最後の頃は3泊4日へと短縮化されていきました。

修学旅行が中断されたのは一九七四（昭和49）年度のことです。受験戦争突入前の最後のイベントとして羽目を外す生徒が多くなった風紀上の問題と、業者依存の物見遊山的な企画への批判が主な理由でした。



名物和尚の説法（高18期）

旅行の復活を訴える生徒の声が上がる中、先生方が「大泉高生として学を修めた記念となる旅行」を模索した結果、新たに企画されたのがHR合宿でした。日常の空間から場所を移し、各クラスそれぞれが予め選り合ったテーマに沿って本音で語り合うことを目的にした旅行でした。

初期のHR合宿は大島のセミナーハウスを利用して、高校2年の秋に行いました。初日と2日目の夜にクラス毎で討論会を開き、3日目の全体集会が発表の場でした。

第7回目から行先を広島に移し、それまでの観念的なテーマでなく、「現地で戦禍を実際に見聞きして、その体験を基に討論を行う」形式に改められました。討議の結果は帰京後に報告集としてまとめられました。

第16回目の一九九二（平成4）年度から合宿地は沖繩に変わり、今年1月に当時の2年生が10回目の沖繩の地へ飛び立ちました。多感な高校時代に、実体験を共有した仲間とともに「平和」について真剣に語り合う「大泉の新しい伝統」は、これからも受け継がれていくことでしょう。

（広報部）

命拾った8期生たち

宇田川 公子（高8期）

事前講義で豊富な知識を得て、高2の春休み夜行列車で出発。早朝京都に着き、薫り高い古都の文化を満

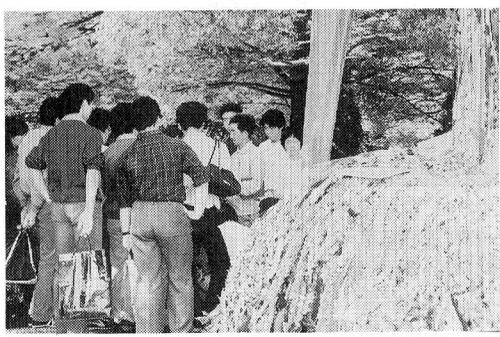
喫しました。夜は新京極を散策。奈良では飛鳥、天平時代の仏像文化に浸りました。次いで「紫雲丸」で高松に渡り屋島、栗林公園へ。宇野に戻って岡山の後楽園へ。そして夜行で帰京。内容の濃い修学旅行でした。

生徒が信頼されていたからか、帰路は自由行動が許され親戚や知人宅へ回った人もいました。「紫雲丸」は二ヶ月後、修学旅行生を乗せたまま沈没。「死運丸」となってしまいショックでした。

都合いい話ですけど

笠井 理絵（高44期）

実は私は、てんでやる気のないHR合宿委員だった。出発前「何故わざわざ語り部の人に話を聞きに行くのかわからない」と暴言を吐いて、公民担当の先生を激昂させた。



被爆体験に聞き入る（高37期）

思い出すと冷や汗が出るばかりなのだが、当時の私は本で読んだだけで広島の悲惨な歴史を理解したつもりでいたのだ。当然現地では生々しい体験談の前に言葉もなく、夜の討

修学旅行・HR合宿 行先一覧

* 修学旅行 *		* HR合宿 *			
高1期	'48.11.	箱根（1泊2日）	高31期	'77.10.13-15	大島
高2期	'49.10.5-7	十和田湖	高32期	'78.10.10-12	大島
高3期	'50. 秋	猪苗代湖・飯盛山（2泊3日）	高33期	'79.10.9-11	大島
高4期	'51.5.21-25	奈良・京都	高34期	'80.10.9-11	大島
高5期	'52.5.12-16	奈良・京都	高35期	'81.10.8-10	大島
高6期	'53.4.	奈良・京都	高36期	'82.10.7-9	美ヶ原
高7期	'54.3.	奈良・京都	高37期	'83.10.8-10	広島
高8期	'55.3.24-29	奈良・京都・高松・岡山	高38期	'84.10.9-11	広島・倉敷
高9期	'56.3.22-27	奈良・京都・和歌山・大阪	高39期	'85.10.10-12	広島
高10期	'57.3.	奈良・京都	高40期	'86.10.7-9	広島
高11期	'58.3.24-	奈良・京都	高41期	'88.1.31-2.2	広島
高12期	'59.3.	奈良・京都（3泊4日）	高42期	'88.10.12-14	広島
高13期	'60.3.26-	奈良・京都	高43期	'89.10.11-13	広島
高14期	'61.3.25-29	奈良・京都	高44期	'90.10.8-10	広島
高15期	'62.3.25-29	瀬戸内	高45期	'91.10.7-9	広島
高16期	'63.3.24-28	奈良・京都	高46期	'93.1.26-28	沖繩
高17期	'64.3.24-28	奈良・京都	高47期	'94.1.25-27	沖繩
高18期	'65.3.24-28	奈良・京都	高48期	'95.1.18-20	沖繩
高19期	'66.3.	伊勢・奈良・京都	高49期	'96.1.17-20	沖繩
高20期	'67.3.	奈良・京都	高50期	'97.1.15-18	沖繩
高21期	'68.3.	奈良・京都	高51期	'98.1.18-21	沖繩
高22期	'69.3.27-30	岡山・広島・四国	高52期	'99.1.17-20	沖繩
高23期	'70.3.24-27	京都・岡山・広島	高53期	'00.1.12-15	沖繩
高24期	'71.3.24-27	奈良・京都	高54期	'01.1.14-17	沖繩
高25期	'72.3.22-	奈良・京都	高55期	'02.1.20-23	沖繩
高26期	'73.3.27-30	岡山・広島・四国			
高27期	'74.3.25-29	岡山・島根・鳥取・兵庫			
高28~30期		修学旅行実施せず			

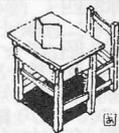
論会では話の進め方もわからなくてロクに発言できず、散々だった様に記憶している。

ただ、あのとき話し合った内容は討論なんてサマになったものじゃない話している。

かたじけなく、日頃触れることのない皆の一面を垣間見せてくれた貴重なひとときだった。大泉らしいイベントだったと、今では人に自慢気になつて話している。

*取材にご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。（広報部）

同期会だより



70歳の集合写真

桜井 宏

高2期
3月30日に中学4期を含む高2期の会が練馬区立勤労福祉会館レストラン「味三末」で開催されました。今年3月で全員が70歳を超えたので、それを祝する意味もあり、住所の不明であった人の調査も行い、連絡できた同期生のほぼ半数の57名の参加を得て、盛会でした。母校での花見の企画は、桜の異例とも言える早い開花に実現できませんでしたが愉快地旧交を温めることができました。予想以上に盛り上がり、飲み物の消費が予定の倍となり、幹事の四苦八苦は嬉しい誤算でした。また、東京が

戦災に遭ったため、中学1年修了の頃やむを得ず地方に転出した旧友2名とも連絡が付き、1名は参加、1名からはメッセージ等が送られてきたことも予期せぬ喜びでした。会の途中で卒業以来始めての本格的記念集合写真を撮り、参加者全員に送ることができました。これを期に定期的に同期会をやろう！ということになり、新幹事を稲村、浅見、山本勲、綿貫の4君にお願いし、再会を約して別れました。

高6期

井上先生の喜寿を祝って

今村 邦夫

昨年に続き、今年の同期会は、C組担任井上森夫先生の喜寿の祝いと、卒業後初め

てクラス会を開くD組が中心に準備を進め、10月13日(土)にフジテレビ本社18階のレストラン DAIBA を会場に行われた。

参加者は73名で、石井岱三会長の挨拶に始まり、井上先生への記念品、花束贈呈があり、猪嶋大フジランド会長の乾杯発声でビール以外の日本酒、ワイン、ウィスキー焼酎が飲み放題の同期会となった。

後半は、井上先生がお礼にとヴィオラを演奏され、MoMA(ニューヨーク近代美術館名作展)の入場券の寄贈抽選で盛り上がりました。当日は、母校60周年記念式典があり、その報告を、いずみ会高橋理事が行い、大波克夫の中締めに続き磯波英児の先導で校歌を熱唱して、井上先生を囲んだクラス毎の写真撮影を行い、再会を胸に帰路につきました。

次回は、奈良県生駒市在住の岡崎先生(F組担任)を囲む、京都での同期会というのは如何ですか。F組の皆さん、是非実現にご協力の程お願い致します。



「母校創立60周年」記念

北條 勝巳

高9期
3年毎に開催の高9期同期会が昨年10月27日に表記を記念して新宿京王プラザホテルにて開催されました。出席者は110名。約35%の出席率で、改めて同期の仲間との結束の強さを痛感し、同時に心から幹事に尽力に尽きる熱い思いをいたしました。

往時の担任の先生方もそれぞれご自分の時間を大切にされながら、悠々自適にお過ごしの際、皆お元気にお出(お一人都合により欠席)され、懐かしい、楽しいお話を数多く披露されました。

同期会ならではのクラスを超えた和気あふむの歓談の輪も大きく広がり、時間の経つのも忘れる程熱気を帯びておりました。

イベントとしては、金春流重鎮の同期生による「お能」の舞台衣装の着付け・仕舞

が披露され、また「同時多発テロ」直後の困難な状況の中、ハワイからの参加者による「ダンス」があり、校歌をはじめ、懐かしい歌を皆で声高らかに合唱して、大いに盛り上がりました。

写真撮影では、若干のエピソードもありましたが、次回の幹事団を選出し、皆の元気な再会を期して、3時間近くの「大同期会」は無事散会となりました。

高11期

さあこれからだ、11期

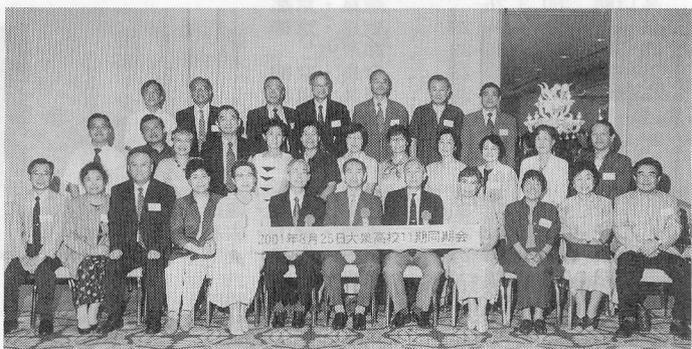
北上 俊人

平成13年8月25日、11期は「還暦記念」の同期会を目白の『フォーシーズンズホテル』で開催しました。出席者は85名と、原田・堤・尾造の三先生方にお越し頂いての和やかな賑やかな会でした。年齢相応に、たるんだり、薄くなったり、のろくなったり、さまざまな故障を抱えていたり、お

互いにいたわり合い、からかい合う場面があったのは仕方ありません。しかし、この時点で、新しい仕事のために海外に雄飛していく人、今までの仕事を続行する人、これから新分野を開拓しようとする人、あるいは趣味やスポーツに打ち込んでいる人など、相変わらず「学ぼうとする意志」・「積極的な生き方」を継続している人も多くて、同期会として力づけられました。

卒業してから40何年経った同期会で初めて言葉を交わした人の気持ちを今さら知って、映画のような感傷にひたった人は、あの高校時代にまんまと「還る」ことができた幸運な人でした。

11期が毎年催す《カルチャー・トーク》会では、6月に「倒産を乗り越えて世界にチャレンジ」というテーマで、同期の海老原代師行君が聴衆の心を打つ話を披露しました。



高22期

32年振りの再会

佐々木 路夫

高校卒業以来、ほんとうに久しぶりの再会でした。菊谷先生、函子先生、淀縄先生、石井先生をお迎えして、2001年11月23日に母校大泉高校の会議室に90名近くの同期が大集合しました。

場所設定に際しましては、懐かしの大泉高校がベストだろうということで、幹事一司意見が一致し、場所を設定しました。大泉高校のシンボルはなんと言っても校門からの桜並木。今でもここに毎年花見に来るという同期もいるくらい、私達の心に残っているアプローチロードです。桜並木を抜けて、校舎に着く頃には気分はもうすでに高校時代でした。

会場では卒業以来、初めて会ったという友もいて、話の花が咲き歓談のうちにあつ

という間に3時間が経ってしまいました。先生方はすでにご退職されておられますが、新たな道でご活躍されている旨お話いただきました。先生方の個性あふれる名調子、懐かしく拝聴させていただきました。締めは肥沼君の音頭で校歌と校友の歌。すっかり忘れかけていた歌も歌ううちに大合唱になり、会場に響きました。次回(いつになるかな)を約束して、閉会となりました。

高26期

次回は卒業30周年!

平野 ゆり

昨年の10月27日(土)、26期同期会を渋谷の東武ホテルにて開催しました。21世紀を迎えて最初の機会なので、「20世紀の思い出と新世紀への抱負を語り合う」ことを目的に、などとカッコつけての会。といっても、我が26期は3年に一度のペースで同期会を開催する仲、互いの顔を見て飲むだけ

でも充分なのですが……。

5名の担任恩師(菊谷、山谷、田上、菅、石井の各先生)と仲間70数人が集い楽しい時間を過ごしました。一次会は、楽譜付で歌詞プリントを用意した校歌・校友の歌を合唱して、締め。このとき、トリードをとられた菊谷先生の声量と美声に、びっくりしました。そして、同ホテル内のオー・ラフィエ貸し切りで二次会に突入。話は尽きることなく、三次会・カラオケ翌日未明まで渋谷の街をさまよいました。

今回、海外在住者にもアエログラムで案内を出したところ、早速Eメールでの近況報告や、現地から直接携帯に電話が掛かってくるなど、時代の変化を感じた次第。

もう一つ、悲しいお知らせですが、同期会を目前にした'01年9月15日、闘病中だった小西与志夫君が亡くなりました。合掌



高50期

はじめての

植村 直人

第50期のみなさん、お元気でしょうか。50期幹事の植村です。昨年の8月に同期会を行いました。20人前後参加、場所は所沢の居酒屋にて行いました。今回は、卒業4年目の年で、現役で4年制の大学に行かれた方は節目の年になることから実施することにしました。

駅に集合した時、高校時代と違い、誰が誰かわからないような感じでしたから、飲み会は初めに、一人一人の挨拶から始まり、途中で席替えをしながら盛り上がりいきました。飲み会の席はだいたい2時間くらいでしたが、みなさん高校時代の思い出を照らし合わせながら楽しく話をしていました。今回の同期会で、私は高校時代に話したことがない人とお話が出来たことで、新たな交友関係を築くことができたことがとても嬉しかったです。そしてみなさんが思い思いの道に進んでいるようで希望に満ちた姿を見ることが出来ました。

これからは3年か4年に一回のペースでやっていきたいと考えています。今回は少ない人数でしたが、次回からはより多くの人に来ていただけるように考えております。乞う、ご期待!

同期会は普段会えない同級生と思い出の時間を過ごすことのできる機会です。今回は是非、ご参加下さい。

高28期

地方からも多数参集

田中 大介

今年7月13日、真夏の炎天下の中、28期第2回目の同期会を池袋サンシャインプリンスホテルにて開催。室蘭・新潟・伊豆大島・兵庫在住の同期生を含め、114名が参集。荒井・吉野・田中・金尾・高橋・内田(高沢)・安藤の7先生方と共に、元気の出るひと時を過ごしました。

6年ぶりの再会だけに、恩師のスピーチにも、途中からは私語だらけ。スマートな吉野先生に代わって、重量級になった同期生もご愛嬌。田村安君から輸入のオーガニックワインの差し入れも多数あり、時間経過とともに声が大きくなるのも酔っ払いの常。

恩師への謝辞を述べた現役高校教師・三山(新沢)女史の言葉に、眩しかった思い出と、恩師の苦労を実感し深謝。次回も全員元気に集まれるよう祈念して二次会へ。

OB・OG会



女子軟式庭球部

源 恭子 (高20期)

平成14年4月7日(日)山本(旧姓関)さんが、ご自宅を会場として開放して下さるとの事で、卒業後初めての女子庭球部20期のOG会を、東京は世田谷の閑静な住宅街で開くことにしました。例年より早い春の訪れで、お花見も兼ねる筈だったのに、やはり『花より団子』の私達にふさわしく、ひたすら食べて、おしゃべりして、の会になりました。14名に連絡し、9名の出席でしたが、卒業後初めて会うという人でも、すぐに高校時代の面影がよみがえり、30余年が一気に縮まった感じで、あつという間に過ぎた楽しいひと時でした。

女子庭球部に所属していたのに、今回連絡がなかったという20期の方がいましたら、源(旧姓関根: Tel: 045-363-5488)まで、ご連絡ください。来年は、一緒にしゃべりしましょうね。



木村武彦（高26期）

初夏の日曜日のお昼、5年ぶりのOB会で18名が表参道のレストランに集合。定期開催だったOB会もいつの間にか途切れてしまい、高28期卒以降のOBにとっては初めての会合となりました。ワインも入り、すぐに会場はまるで高校生がうごめく教室のような喧騒さ。久し振りのため、各自話す事が沢山あると見え、自己紹介だけで90分も消化。そんななかでも話題は円形校舎の部室や、文化祭・新歓での英語劇やその苦しい練習に集中。今だから言える等の当時のリベンジ話も飛び出し、大いに盛り上がりました。大きなお子さんのいるOBも、今日だけは自分が大泉生に（本人は）戻ったかのごとくご満悦でした。5月の名簿整備時にお返事いただけなかったOB、また住所不明のため幹事よりご連絡できなかったOBは是非ご連絡ください。



3期GB会

長谷川 浩吉（高3期）

3期GB会の名称は、高校時代広大な母校のグラウンドを泥まみれに走り廻った仲間、グランドボーイに由来します。大学はそれぞれに分かれましたが情報交換と称して長い交流が続いております。当時安煙草のゴールデンバットを吸ってよく議論をしたのでGB会となったとの説もあり、こちらの方が正しいかもしれません。現在古希を迎えたとはいえ、現役で頑張っている者が多く、一線を退いた連中も得意分野で意気盛んです。

毎年2回程宿泊旅行をしますが、いつも愛する母校の思い出話に花が咲きます。メンバーを特に可愛がって下さった本田・花崎両先生との交流が数十年あり、生前文ちゃんこと花崎先生が先生二人を含めて「グローバルボーイズ」の会に名称を変えたら



どうかとよく書いておられました。青春時代は「ロカビリー」今「リハビリ」なんてことにならないよう各自体を鍛えております。

『大泉60年』より

昨年、母校創立60周年を迎えて記念誌が発行されました。中に、新世代のOBOG、顧問の先生方がここ10年の各部活動について語ってくれています。それぞれの時代と環境はどう変わっているのでしょうか。それとも…。



家政部

男女含めて部員総数が二桁にならないという少数でも、文化祭の昼食を一手に引き受け、細心の注意を払った大量調理は皆様に喜んでいただいています。新入生の獲得方法はふるって、ここ数年は手作りクッキーを使っています。

(顧問 斉藤 弘子)

華道部

文化祭に部員総出で創意工夫、一致団結してひとつの作品を作ることが高校の部活で生花を楽しむ醍醐味のように思います。夏休みから準備する押し花しおりのプレゼントも大好評！しかし部員獲得には一苦労の昨今です。

(指導 塩田 光昌)

茶道部

お正月の花びら餅、春の野点に季節を感じ、文化祭でお客様との間に生まれる緊張感や静けさの中に、文化と伝統を感じつつ、賑やかで常に笑い声の絶えない明るい部です。この伝統をいつまでも伝えていて欲しいと思います。

(高49期 本多 雅子)

写真部

この10年、幾度かの受賞も果たし、なかなか活発な活動と思う。が、どこことなく活気に欠けているように感じる。顧問の先生には、部員の自ら考え、行動する力を信じ、温かく見守って見ていただけることを望む。

(高46期 富田 和孝)

吹奏楽部

この10年「吹奏楽の甲子園」とも云うべきコンクールに6回出場、昨年、一昨年は「銀賞」を獲得するなどの成果を挙げ「圧倒的音量・圧倒的音楽性」の復活と大音量への日々飽くなき探求が続いています。校歌に謳う「自主創造の大泉」精神にのっとり、全てを自らの手で遂行できた誇らしさ

は、今でも忘れられることができず。

(高45期 飯高 裕之)

剣道部

数年前から校外で行われている合宿に、ほぼ全員が参加し、厳しい練習に耐え、それぞれがひとまわり大きく成長する場となっています。先輩方から引き継いだ「まっすぐ堂々と打つ・最初から最後まで全力を出す」姿勢を大切にと思っています。

(高48期 井口 滋生)

山岳部

慢性的部員不足に悩まされてはいるものの、2000年には新入生が大挙（5名）入部。一年生を中心に久々のボッカ訓練山行や夏休みの南アルプス合宿を実施しました。月1回の定例山行では、途中で採取したキノコでスープを作ったり、岩清水でコーヒーを煎れたりただ山に登るだけではない活動も進めてきています。

(顧問 諫山 和可)

柔道部

生徒数の激減のためか、はたまた柔道人気の低迷のためか、少人数ながら男女とも良い成績を残すべく一丸となって練習に励んでいます。都立校では有数の恵まれた環境と広い道場、入れ替わり立ち代り練習の様子を見に来てくれるOBOGたちに囲まれ、伝統を守りながらのびのびと活動しています。

(顧問 矢野 一心)

水泳部

大泉においては歴史の浅い部で、1987年に正式に部となりました。個人的にもすぐれた能力を持ち、大会で成績を上げる部員もいますが、全員がそれぞれの自己ベストを目指し、冬の陸上トレーニング、夏の泳ぎこみに励んでいます。上・下級生の区別なく、マッサージをしあったり、チームとしてもよくまとまり、お互いを高めあっています。

(高42期 佐々木 亮)

男子バスケットボール部

卒業して6年目。2年前から母校のコーチとして入部することになりました。バスケットボールを通して、高校生と接し、彼らの考え方を直に感じることができました。一番はコミュニケーションのとり方の大切さです。練習を通してお互いが納得するまで話し合うことが、チームの能力向上に繋がる最も早い道だと実感します。

(高46期 藤森 俊介)

女子バスケットボール部

毎年、「脱4部」を目指してがんばって練習してきましたが、一昨年、とうとう3部昇格を果たし、春の大会では2部昇格も決まりました。年の初めに目標を定め、皆が一つの目標目指してお互い刺激しあいながらも、協力して練習しています。バスケットにも友情にも熱い部です。

(高46期 安藤 武彦・高53期 井上 謡子)

バドミントン部

昔から(恐らく今も)バドミントン部においては、自主性を重んじる大泉カラーの表れというか、強制的に練習させられる事がほとんど無かったように思う。それは部を立ち上げるに際しての過酷な条件(都大会優勝)を見事に果たしたOBの方たちの努力の賜物と。高校生との段階でそれほどの意識、自立性で行動されたまさに大泉が求める人間性ではないかと思う。部活では皆練習メニューをきちんとこなしていました。是非良い成果を挙げて欲しいと思います。
(高45期 宮川 純一)

美術部

心のアルバムをめくってみると、黙々とイーゼルとキャンバスに向かう姿は存在せず、行事ごとの様々な建造物・オブジェの製作に夢中に取り組む場面が浮かびます。ポスターやパンフレット製作も、モノクロからカラーへ刷新。材木調達、リヤカー引き、トンカチと刷毛を手に創作意欲溢れる賑やかで楽しいガテン系の部活でした!
(高42期 佐野 ゆき)

卓球部

90年代初頭は、レギュラー獲得のため厳しい練習に励み、相当実力がつき強豪校のひとつでしたが、卓球離れが進み、存続も危ぶまれる状況に一時追い込まれました。2000年には即戦力となる新人も入り、練習内容もバリエーションアップして着々と力をつけています。今、卓球王国大泉目指して始動しました。ご期待下さい。
(高53期 高橋 優太)

ダンス部

文化祭の花形!(アリーナの舞台はダンスに始まりダンスに終わる…自称)であることは元より、私達自身が楽しむことをモットーとして練習に励んでいます。その為には全員の心が一つになることと、それぞれが自分にも周りにも厳しくしなければいけないと思っています。そこから友情もたくさん育っています。
(高51期 赤岩 和子)

お知らせ

■高4期同期会
日時・11月18日(月)~19日(火)
場所・西伊豆土肥温泉バス旅行
連絡先・江南 宏 Tel 03-3991-9673
高4期は昭和21年旧制大泉中学最後の入学です。戦後の貧しい時代でしたが、楽しく有意義な6年間でした。今回は卒業50周年を迎えての記念行事です。
■高5期同期会
日時・10月31日~11月1日
場所・箱根方面一泊旅行(おかだ屋本館)
連絡先・岡崎晴義 Tel 0424-61-4901
高校の修学旅行から50年。再びの修学旅行を計画。ふるってご参加ください。

男子バレーボール部

部活を通じ、礼儀・向上心・協調性等多くの事を学びました。そして何より夢中になれるものがあったからこそ今の自分があると思っています。初心者が多い雑草集団が一つでも上を目指そうと一致団結できたことはいい思い出となっています。今でも仲間と集って、OB会や区民大会に参加したり親交を深めています。
(高48期 向井 崇浩)

女子バレーボール部

体育館の使用時間とか、決して恵まれた練習環境とは言えないけれど、その中でも熱心な指導と向上心とチームワークで成果を挙げていると思います。最後まであきらめない、ねばりのバレーをモットーに、ベスト16進出という目標に向かって日々活気ある練習が行われています。
(高50期 住吉 五月)

野球部

平成2年はベスト16、平成8年・9年とベスト8入りをして、大泉高校野球部の歴史に輝いています。チームには、人や物の他にプレーに対する心が必要とされています。ひたむきに練習し、道具やグラウンドを大切に、人に思いを馳せて感謝する事が大事です。甲子園への夢は続いています。
(元顧問 原 浩司)

陸上部

この10年間に部の中に「当たり前」を作ることができた。都立高校陸上部のレベルアップを図るグループの合宿や合同練習に参加することだ。当時部員たちは、これをチャンスと見て合同練習に踏み切り、次へと引き継いでいってくれている。伝統というにはまだまだだが、新しい練習の形が根付いてくれたと実感するこの頃です。
(高46期 戸田 敏治)

硬式テニス部

基礎的な練習から試合形式まで、私たちは、ほぼ毎日活動しています。大泉は、男女一緒に練習することで、それぞれのボールの特長を学ぶことが出来、良い結果を生

んでいる。テニス部はまさに青春。合宿での厳しい練習、友情、皆で悩んだり励まし合ったり、人間的に成長できる良い点があり、また、良い成果を挙げようと代々違った色を出しつつ努力は続いているのです。
(高54期 若杉 有希子)

サッカー部

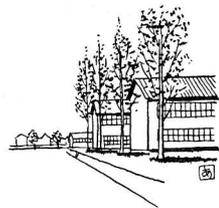
60周年を迎えた大泉高校と同じくらいの歴史を持つのがサッカー部です。ここ10年は「都大会進出」を当面の目標として活動しています。チームとしてある程度の力はあるものの、地区予選では悔しい思いをしています。2000年からは必修クラブが廃止され、いろいろな形で困難もありますが、地力を更につけて「都大会常連」を目指して活動していくこととなります。
(顧問 植村 久)

ソフトテニス部

大泉のソフトテニス(軟式)はS23年に創部以来多くの成績を残して現在に至っています。これは私立を含めた中でもめざましいものだと思います。その理由の一つには、恵まれた環境(三面のコート)があげられます。今は三面を使いこなすには人数が少ないかもしれませんが、その分、広々と使えて、いろいろな形の練習ができます。他校にはない良さを生かし、先輩方の伝統を代々受け継いでいかなければと思っています。
(高54期 奥山 直樹)

天文部

相変わらず、兼部している部員が多いのですが、合宿や、近年では観望会と呼んでいる観測会を実施。地道な活動を細々と続けています。平成12年度には、7月に皆既月食を観察し、その写真をastro-hsの月食画像ギャラリーに出品しました。
(顧問 橋本 道雄)



■高10期同期会
日時・11月23日(土)16:30~
場所・松本楼(日比谷公園内)2F
連絡先・田島寛 Tel 0422-32-6155
3年ぶりに楽しいひと時を過ごしましょう。皆様ふるってご参加ください。
■高13期同期会
日時・H15年6月14日(土)17:00~
場所・帝国ホテル宴会場
連絡先・山本章義 Tel 042-395-0988
■高15期同期会
日時:平成14年11月23日(土)14:00~
場所:東京藝術劇場内
「カフェ・コンチェルト」
会費:10,000円(記念写真代などを含む)
連絡先など詳細は追って連絡いたします。

会員訃報(敬称略)

心よりご冥福をお祈りします。

高11期 笠原 憲雄 平成13年10月12日
高11期 西村 賢一 平成14年7月23日
高13期 長尾夫美子 平成13年9月21日
高14期 香川 晃子 平成14年7月6日
高21期 長嶋 敏美 平成13年12月30日
高21期 萱島 早苗 平成14年8月16日
高22期 福岡 和夫 平成14年8月2日
高26期 小西与志夫 平成13年9月15日
高29期 山本恵理子 平成9年9月13日
高31期 浦野 里佳 平成14年8月16日
高34期 竹中 知子 平成13年4月3日

10月27日 いずみ会総会・懇親会のご案内

輪っとなつまろう 大泉に!!

★懇親会は「生ビール」と「おいしいお料理」を真ん中に、ワッと騒ぎましょう。

イベントは「輪投げ」です。全員参加でのチーム対抗戦。どんな組合せのチームができるかな。優勝チームには「輪」や「ワッナゲー」に因んだ面白グッズの賞品が用意されています。輪っとなつまって、食べて、飲んで、ゲームに参加してみてください。

★ご出席の方は、同封のハガキにて、10月15日(火)までにご連絡ください。

と き：平成14年10月27日(日)

12時30分～ 受付開始

13時～ 総会

13時30分～ 懇親会

15時30分(予定) お開き

ところ：母校 視聴堂室・大会議室

参加費：中1期～高41期 2,500円

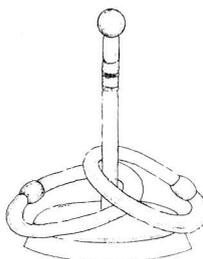
高42期～高51期 1,000円

高52期～高54期 無料

★今年の懇親会の運営幹事は、卒業期の下一桁に2がつく「2の会」です。幹事会では高校2期と高校52期との年齢差50歳、譲り合ったり、押し付けあったり、歳に幅を利かせたり、時には助け合ったりしながら、楽しく(?) 準備を進めています。

いずみ会 会長 石井 岱三(高6期)

「2の会」会長 小野田敦子(高12期)



「いずみの広場」開設

前号でもお知らせ致しました「いずみの広場」が、昨年10月13日、母校60周年記念式典に合わせて開設されました。

図書館入口右脇の約5.5m×4.5mのスペース中央に往時を偲ばせる3脚の丸テーブルが置かれ、10脚程の折り畳み椅子が備わっています。両サイドの壁際には、会員の方々から寄せられた懐かしい品々が展示されています。壁には田中前会長が揮毫した扁額の他、校舎の変遷を中心にした大小のパネルが掲げられ、母校の歴史と伝統を感じさせてくれます。

通常、部屋は施錠管理されていますが、事前に連絡すれば閲覧できますので、母校に足を運ばれた際には「いずみ会文庫」と合わせて是非お立ち寄りください。

資料保管用に設置されている2竿のガラス戸つき木製戸棚には、まだまだ空きがあります。今後とも思い出のお品のご惠贈をお待ちしております。



いずみ会を支えてください

母校が創立60周年を迎え、益々発展を続ける様に、いずみ会も現在21699名の会員を有する大きな組織になりました。執行部ではできるだけ多くの会員がいずみ会事業に参加できるよう、活動内容を工夫し、企画をしております。同期会の案内や母校の情報を会報やホームページに細かく掲載したり、総会・懇親会は初めての方でも参加しやすいように幅広い層に共通するテーマを進めています。会員名簿の住所判明率も平均的に高く、それを基に会報をお送りしています。

このようないずみ会の活動は皆様からお寄せいただいた会費・寄付・および入会金に支えられています。現在いずみ会の存在や活動をご存じでも、すべての会員が会費振込みをして下さるといふところまで、なかなかつながっていかないのが現状です。今回会報をお送りした封筒と同封された振込用紙の形を大幅に変更いたしました。「オヤッ?」と思われましたか。昨年までの規格と違い、窓枠から御自分の名前が直接覗ける様式はどうか。今回この「オヤッ?」で一人でも多くの会員が封筒を開けて下さり、会報を読まれ、振込用紙を活用して下さることを期待しています。

今後、母校が70周年を迎え、いずみ会も豊かな気持ちで70周年を迎えられるように、皆様のご支援をお願いいたします。(会費の振込方法は、別紙「会費納入者一覧」をご覧ください。)

HPもご覧ください

2001年3月末にスタートした本会HPも満1年半を迎え、やっと「よちよち歩き」ができるところまでできました。その間会員の皆様から約3000件のアクセスをいただき、ご意見ご感想のメールも届きました。

また、住所不明者一覧を見た、当のご本人から住所情報を多数お寄せいただきました。

これはHP以外では不可能なことで、永い間同窓会から遠ざかっていた会員の方々が、これを機会に再び本会に参加して下さるのは、とても嬉しいことです。

会報は年1回の発行で、文字数や紙面にも限りがありますが、その点HPはホットなニュースをカラーでふんだんにお届けできます。HP担当者一同、いずみ会の目標のひとつである「会員相互の親睦を深める」ことに役立つと信じて、精一杯作りますので、是非「お気に入り」に入れて、時々クリックしてみてください。(広報部)

情報をお待ちしてます

●会報いずみでは、会員の皆さまの楽しい集いの様子を毎号お伝えしています。

同期会、クラス会、OBOG会等の催しがありましたら、情報をお寄せください。もちろん開催予定のPRも大歓迎です。HPにも掲載させていただきます。

●お引越しなされたときは、「同期の名簿幹事」または下記の「いずみ会連絡窓口」へ、ご一報ください。

●会員の計報や、住所不明会員の連絡先についても情報をお待ちしております。

いずみ会連絡窓口

ご意見、ご感想、住所情報等は下記の方法で連絡をお願いします。

同封のハガキにて、お寄せ下さい。

郵便 〒178-0063 練馬区東大泉5-3-1
都立大泉高校内 いずみ会

FAXなら、 03-3920-2374

Eメールなら、 izumikai@v7.com

編集後記

今期から会報部は広報部に改称しました。会報作成に加えて、HP(ホームページ)更新の業務を担当しているためです。

字数制限のため会報でお伝えしきれない詳細な情報がHP(<http://www.izumikai.net>)でご覧になれます。

HPと会報では、記事内容が一部重複しておりますが、会報は住所の判明している総ての会員の方に本会の活動をお伝えすることが役割ですので、ご了承下さい。

■広報部スタッフ 須藤一彦(高9期)、北上俊人(高11期)、森田陸四郎(高15期)、荒井真理子(高20期)、土肥暁美(高21期)、植村久(高21期)、大久保靖(高22期)、仲沢浩一(高32期)

会費納入者一覧

(敬称略・平成13年度納入分)

本年度も多くの皆様と同窓会費及びご寄付を頂きました。ありがとうございます。次回、お名前を掲載しました。平成13年4月1日から平成14年3月31日までの間に会費・寄付をお振り込み頂いた皆様です。掲載順は各期毎で次のとおりです。お名前、会費納入額(終身会費納入の方は『終』と表示)、寄付金額(単位は千円で、終身会費を超えた金額は寄付として扱わせて頂きました。)

会費納入の決まりは
高校卒業後10年を経過した年度から、満70歳を迎える年度までです(今年度は高校44期の方から70歳の方までが会費納入対象者)。対象外の方の納入も前納として一覧に載ります。2年会費は千円です。過去の未納分は廻りません。今年度分からお願ひします。ご質問ご意見がありましたら担当まで

会計事務局幹事
富田順子(高11期)
Tel・Fax 042-942-4678

前 会費 寄付

中 1
清水靖夫 5

高 3
五十嵐孝夫 1

中 2
多田正暢 5

高 4
浅見文夫 1

中 3
大澤康邦 終

高 1
後藤哲也 1

高 2
田中幹夫 1

高 3
高田保雄 終 3

高 2
大塚光夫 終

山口真美 終 2
吉沢達 終
渡辺浩志 終

高 5
石戸谷貞仁 終
大澤登 終

川津雄 終 6
神田秀夫 終
北川行弘 1

岡沢弘 終
坂井敏郎 終 3
佐野旭 1

西山暢一 1
矢吹常久 終
山崎啓太郎 5

伊東秀子 終
佐藤早苗 1
酒井茂子 終

大木紀子 終
中房代 1
近藤玉枝 3

高 6
今井均 終

岡芹繁夫 終 2
女屋敏正 終
加納弘郷 終

小林優介 終
佐藤久男 終 10
佐野弘太郎 3

佐伯志彦 2
篠匡昭 2.5
菅生裕 1

高山幸治 1
津島豪 終
砺波英児 終

浜野章保 終 2
林孝雄 2
原田清 3

平田康浩 終 4
村井和昇 終
村上昂 5

山口彦次 終
山口善久 1
平田千枝子 終 4

小山芳子 終
櫛山已知子 終
神田計子 終

白勢瑛子 1
武井和貴子 2
氏家久子 1

岩田敦子 終 2
白田喜久枝 1
小出淑子 5 5

高 7
石間戸宗明 1

内堀清三郎 5
池田実 1

石波淑子 10
宇山大树 終
宇藤康孝 終

高 16
小林雅通 終 4
柳瀬正敏 3

井上絃子 2
小川明美 10
大内春子 2

片柳良一 終
谷暉之 10
仁科紀一 3

高 12
沢田照男 2
竹口裕子 1

新井宏 終
熊谷憲一 1
殿前康雄 5

海野徹也 終
遠藤文男 10
川崎浩一 1

高 13
内田幸完 終
加藤能久 5

櫻井正昭 終
関根祥夫 5
益田豊 終

菅原玲子 5 5
松岡亜樹 3
田中昇次 2

水谷隼夫 3
山田秀之 1
須賀松江 終

松井和子 終
竹内浩子 5
澤村英子 終

前野道子 終
裏田和夫 1
小浜佐紀子 3

並木昭彦 終
高橋光子 終
松尾美恵子 5

戸田一誠 3
中田捷子 1
越智宣子 1

高 14
岩田博行 1
大谷義彦 終

追川誠 終
杉山博司 5
大久間隆子 終

吉田登代子 3
福田暉男 5
村山千鶴子 5

高 15
寺井功 5
丸山敏雄 1

松本雅雄 終
渡辺浩通 1
草薙正朗 3

北地原正子 5
佐々木信子 終 35
木由紀子 終 5

高 17
大山美智子 7
大橋田鶴子 終

高松浩子 1
鳥本陽子 3
黒沢洵吉 2

山口雅子 終
越智信夫 終
野村省子 1

中島より子 終
原田滋子 5
岡本豊 5

高 18
宮崎賢治 10
西川早智子 終

飯塚美雪 10
嶋田和代 1
渡部典子 5

中村謙 終 3
緑川春野 10
伊藤彰 5

大野誠治 10
連沼都 5
田中憲子 10

山田暁子 1
田瀬則雄 3
田中敬一 10

上野圭一 1
斉藤裕子 2
青木隆 5

石川秀樹 5
宮田やよい 終 3
中村律子 終 2

高 19
白河邦子 10
村上康子 1

井上藤子 終
常木小由子 1
松本幸子 3

関口政利 8 2
里見けい子 5
石井佳陽 5

松島英人 終 5
諸沢孝 1
鈴木元 1

高 20
依田武男 5
桜井葉子 1

高梨妙子 5
小池直行 3
宇佐美よ子 1

高 21
植村久 3
水島美千留 1

青木真理子 3
倉塚まづみ 終
戸谷典子 10

吉原和 終 7
中村美智恵 2
岩重佳治 2

高 25
藤本万里 1
斉藤育子 2
関屋取 1

高 30
鈴木淳雄 10
小林貴美 5
大塚聡一郎 1

高 37
栗原千春 1
中野大助 1

高 38
高橋寛 1
高木英守 2
岩井千生子 5

高 26
山本晃 1 1
河崎知子 5

高 31
尾崎一 1
滝田正寿 10
原居隆史 3

高 27
東晃夫 5
岩間浩一 3
久下亨 3

高 41
榎本みゆき 1
辰巳典子 10

高 42
武田真弓 1
岡村康男 1
高橋大輔 1

高 32
小松原良次 1
長岡聡子 1
小柴いずみ 10

高 22
伊勢家徹 2 1
河合英里子 1
田中英一 3

高 28
松村秀樹 5
山村剛 1
鯉井寛司 1

高 23
寺沢直志也 3
平井真人 4
小林秀典 3

高 29
加藤健次 1
宮島徳男 1
吉岡幹夫 1

高 33
後藤佳子 3
福原紅実 5
寺田勉 1

高 34
巖柱二郎 3
磯田丈弘 10
萩原久美子 3

高 39
山本孝文 2
長谷川多嘉子 3
大野久美子 3

高 40
千田恭子 6
嗣永典子 3
柴田昌寿 10

高 43
大石亜希子 1
嘉永領 2
中橋直樹 1

山口真理子 1
河津正典 10
和田ゆかり 3
二階堂健 5
高 37
栗原千春 1
中野大助 1
高 38
圓井由里 1
坂田光平 5
清水達朗 1
桜井智子 3
横山はるみ 3
横山由美子 5
豊島誓一郎 10
高 39
尹ちな 2
高 40
千田恭子 6
嗣永典子 3
柴田昌寿 10
阿部律子 3
鳥居洋一 2
磯野利香 2
熊崎義紀 5
高森泰人 10
高林ひとみ 3
高 41
榎本みゆき 1
辰巳典子 10
高 42
小松原良次 1
長岡聡子 1
小柴いずみ 10
田邊嗣国 7
中村匡宏 1
田中克典 5
金子成雄 1
山本勝治 2
高 43
大石亜希子 1
嘉永領 2
中橋直樹 1
錦織晴幸 1
加治佐英樹 5
高 45
清水英子 1
高 52
渡邊太地

創立60周年協賛事業 寄付者一覧

都立大泉高等学校創立60周年協賛事業へご寄付を頂き、ありがとうございます。昨年10月13日に記念式典および祝賀会が開催され、記念誌の発行や、「いずみの広場」の整備などに使わせて頂きました。また、桜の記念植樹も行われ、整備された校門からの眺めはさらに華やかで美しくなりました。ここに各寄付を下さった方々のお名前を掲載いたします。

いずみ会は、これからも母校の発展と後輩の応援をしていきます。
(2年度にわたっての事業でしたので、複数回ご寄付を頂いた会員のご氏名は、紙面の都合上、まとめて掲載をさせていただきます。)

ご質問ご意見は、下記にお願いします。
E-mail: izumikai@v7.com
Fax: 03-3920-2374

名前 寄付 竹田節男 2
寄付者内訳 樋田並照 3
日職員 7名 依田弘 2
団体 1件
個人 429名
合計 437件
日職員
吉野永美 3
澤田芳郎 3
志賀一朗 10
恒松明 10
長野保子 10
清水眞事 10
本橋俊雄 10
大泉高校OB・OG合唱団 20
中 1
尾沼昭 2
近藤欣裕 3
佐々木俊雄 2
左藤公彦 10
左藤宏吉 5
鈴木健 5
高島辰雄 2
中 3
西川銀男 10
本橋長 5
大竹恭磨 10
浦尾洋太郎 5
大西勝 3
高 1
池田茂 10
高 3
高 6
高 9

大波威夫 10
桑原彰 10
高 2
桜井宏 5
新木敬治 10
市川哲也 2
清水靖夫 5
高橋宏 3
高良進 10
寺島一郎 10
寺田福雄 4
山我茂夫 5
米倉温郎 3
高 3
勝田一彦 2
長谷川浩吉 10
仙田陽一 2
西田学 2
宮腰繁樹 10
元谷琢司 3
湯川一 3
吉田浩 3
高 4
青山要一郎 4
浅見文夫 2
石川宏 2
小澤大二 2
小野靖彦 21
栗林義信 1
仁科和雄 10
野原剛 5
比嘉高 2
平山久雄 3
高 5
浅谷衣子 5
内田勝久 5
伊藤克 3
塩川泰通 3
田中英道 40
中条健八郎 30
中川邦好 2
野村幸夫 2
早川嘉美 3
福土義人 10
藤代伝造 10
藤瀬季彦 3
真鍋信行 5
宮本隆司 10
中 1
尾沼昭 2
近藤欣裕 3
佐々木俊雄 2
左藤公彦 10
左藤宏吉 5
鈴木健 5
高島辰雄 2
中 3
西川銀男 10
本橋長 5
大竹恭磨 10
浦尾洋太郎 5
大西勝 3
高 1
池田茂 10
高 3
高 6
高 9

柴田賢 10
島崎隆一 5
仙田正二 2
高橋保孝 5
高松範 5
永井満 2
西多英治 5
浜岡忠彦 2
村野将範 5
今井敬子 5
石井伊佐子 2
白田喜久枝 2
椿慎子 3
高 7
板倉克明 3
市川弘一 10
大久保勲 3
鎌倉正弘 2
亀井静香 30
菊地慶四郎 2
関壮吉 5
土江仁 10
戸塚昭 5
原田康行 5
矢萩元 2
山田清子 5
岡光子 2
宮崎三都子 7
三平千代子 10
高 8
吉野文雄 10
宮崎信吾 10
君島輝代 2
木村賢久子 2
堤美穂子 5
荒井重信 2
岡本正義 3
松下彰夫 3
村野洋司 2
岩佐光世 10
光田健児 5
山岸敬司 3
山田喜照 10
羽根田達治 5
高木登茂子 10
市村悦子 2
浦田佑子 30
蔵原輝人 5
早川希予子 5
吉野秀雄 5
鈴木元 2
宮原真人 3
高 15
前久保博士 5
保科欽司 5
松藤洋治 5
八木清文 2
吉田明子 3
山本朗 5
高 25
野村麻里 3
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

浅見正義 5
北岡博 5
浅村洋子 5
小泉啓子 5
河崎明宏 5
棟方隆一 5
丹下多 5
北上俊人 5
矢花昌子 3
山田とま枝 10
山沢秀夫 5
清水信 3
福田稔 5
手島義雄 5
若月晋吾 2
渡辺寛 3
柚原美智子 2
相原英子 3
北条勝巳 2
大軒史子 2
山下嗣夫 3
高 10
山岸礼子 3
小野里子 5
坂根健 2
崇島弘安 2
井出侑子 2
羽根田千賀子 5
金井欣吾 5
角原佑一 10
麻生紘二 2
中村靖 3
山田光子 3
高津幸一 10
戸田一誠 2
戸塚仁史 10
中田捷子 1
星野直子 3
石田徳子 5
平野千枝子 10
佐藤克子 5
高 14
東信彦 10
杉山博司 2
吉田登代子 2
滝沢由紀子 2
高木登茂子 10
市村悦子 2
浦田佑子 30
蔵原輝人 5
早川希予子 5
吉野秀雄 5
鈴木元 2
宮原真人 3
高 20
依田武男 2
石原信和 3
高部伸 2
山本朗 5
高 25
野村麻里 3
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 16
柱成子 2
須沼洋 1
中川洋一 3
古山靖子 2
大場修一 16
篠原正 10
飯島信枝 5
中沢勲 3
熊沢蕃 10
矢田部碩夫 3
相沢勲 30
熊倉邦彦 2
下弘明 5
荻上寿美子 5
関根宥子 10
高 13
青木泰男 2
安達宏銀 2
篠忠義 5
稲垣仁義 5
見目昭夫 3
山本章義 6
田中昇次 5
麻生紘二 2
小浜佐紀子 2
山田光子 3
高津幸一 10
戸田一誠 2
戸塚仁史 10
中田捷子 1
星野直子 3
石田徳子 5
平野千枝子 10
佐藤克子 5
高 14
東信彦 10
杉山博司 2
吉田登代子 2
滝沢由紀子 2
高木登茂子 10
市村悦子 2
浦田佑子 30
蔵原輝人 5
早川希予子 5
吉野秀雄 5
鈴木元 2
宮原真人 3
高 20
依田武男 2
石原信和 3
高部伸 2
山本朗 5
高 25
野村麻里 3
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 17
篠和夫 5
中村賢二 7
大山美智子 3
奥澤泰一 2
新津恵子 5
伊藤由美 2
高松浩子 1
稲田和子 10
大津徳明 10
後藤繭子 2
案納邦義 10
高見和彦 2
堀江悠子 5
小川惠子 2
高橋盈江 2
平林千鶴子 3
辻川惠子 2
高橋隆就 3
植松光一 2
矢吹朝子 10
平井敬三 5
酒井陽三 10
浅井貴子 10
小山房子 5
高井千恵子 10
角田敬子 5
石田正一 4
水谷三枝子 2
吉田玲子 2
片桐慎一郎 2
高 40
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 21
篠和夫 5
中村賢二 7
大山美智子 3
奥澤泰一 2
新津恵子 5
伊藤由美 2
高松浩子 1
稲田和子 10
大津徳明 10
後藤繭子 2
案納邦義 10
高見和彦 2
堀江悠子 5
小川惠子 2
高橋隆就 3
植松光一 2
矢吹朝子 10
平井敬三 5
酒井陽三 10
浅井貴子 10
小山房子 5
高井千恵子 10
角田敬子 5
石田正一 4
水谷三枝子 2
吉田玲子 2
片桐慎一郎 2
高 40
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 26
山口達夫 2
寺幸夫 2
齋藤正彦 2
間中順子 5
佐々幸子 2
内藤幸子 2
高 27
山田克世 3
益村典子 5
浜田和章 2
瓜生道雄 2
木村満美子 2
平塚いづみ 2
立石和恵 2
今津正 10
城口直人 2
木元弘 2
三好康司 2
堀越和雄 5
鈴木亮 4
西澤正博 5
野村敏志 2
栗原千春 2
大藏美樹 2
坂口創 1
川島文彦 5
大藏博 2
高 38
梅田利枝 2
吉田玲子 2
長谷川政 5
蟹江慶子 1
長谷川政光 2
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 33
寺田勉 2
真田寿彦 2
高木由香 2
片山成美 2
塩川敬一 1
高 34
中山美子 3
橋本直樹 2
田代研 5
高 35
前田典昭 3
鈴木啓順 3
依田敦 2
田崎久美子 2
高 36
伊与部智子 3
綿貫美穂 5
浅見朋子 2
高 37
栗原千春 2
大藏美樹 2
坂口創 1
川島文彦 5
大藏博 2
高 38
梅田利枝 2
吉田玲子 2
長谷川政 5
蟹江慶子 1
長谷川政光 2
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 12
堀内知行 10
務台桂子 5
高 12
中沢勲 3
熊沢蕃 10
矢田部碩夫 3
相沢勲 30
熊倉邦彦 2
下弘明 5
荻上寿美子 5
関根宥子 10
高 13
青木泰男 2
安達宏銀 2
篠忠義 5
稲垣仁義 5
見目昭夫 3
山本章義 6
田中昇次 5
麻生紘二 2
中村靖 3
山田光子 3
高津幸一 10
戸田一誠 2
戸塚仁史 10
中田捷子 1
星野直子 3
石田徳子 5
平野千枝子 10
佐藤克子 5
高 14
東信彦 10
杉山博司 2
吉田登代子 2
滝沢由紀子 2
高木登茂子 10
市村悦子 2
浦田佑子 30
蔵原輝人 5
早川希予子 5
吉野秀雄 5
鈴木元 2
宮原真人 3
高 20
依田武男 2
石原信和 3
高部伸 2
山本朗 5
高 25
野村麻里 3
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 10
山岸礼子 3
小野里子 5
坂根健 2
崇島弘安 2
井出侑子 2
羽根田千賀子 5
金井欣吾 5
角原佑一 10
麻生紘二 2
中村靖 3
山田光子 3
高津幸一 10
戸田一誠 2
戸塚仁史 10
中田捷子 1
星野直子 3
石田徳子 5
平野千枝子 10
佐藤克子 5
高 14
東信彦 10
杉山博司 2
吉田登代子 2
滝沢由紀子 2
高木登茂子 10
市村悦子 2
浦田佑子 30
蔵原輝人 5
早川希予子 5
吉野秀雄 5
鈴木元 2
宮原真人 3
高 20
依田武男 2
石原信和 3
高部伸 2
山本朗 5
高 25
野村麻里 3
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 16
柱成子 2
須沼洋 1
中川洋一 3
古山靖子 2
大場修一 16
篠原正 10
飯島信枝 5
中沢勲 3
熊沢蕃 10
矢田部碩夫 3
相沢勲 30
熊倉邦彦 2
下弘明 5
荻上寿美子 5
関根宥子 10
高 13
青木泰男 2
安達宏銀 2
篠忠義 5
稲垣仁義 5
見目昭夫 3
山本章義 6
田中昇次 5
麻生紘二 2
中村靖 3
山田光子 3
高津幸一 10
戸田一誠 2
戸塚仁史 10
中田捷子 1
星野直子 3
石田徳子 5
平野千枝子 10
佐藤克子 5
高 14
東信彦 10
杉山博司 2
吉田登代子 2
滝沢由紀子 2
高木登茂子 10
市村悦子 2
浦田佑子 30
蔵原輝人 5
早川希予子 5
吉野秀雄 5
鈴木元 2
宮原真人 3
高 20
依田武男 2
石原信和 3
高部伸 2
山本朗 5
高 25
野村麻里 3
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 17
篠和夫 5
中村賢二 7
大山美智子 3
奥澤泰一 2
新津恵子 5
伊藤由美 2
高松浩子 1
稲田和子 10
大津徳明 10
後藤繭子 2
案納邦義 10
高見和彦 2
堀江悠子 5
小川惠子 2
高橋隆就 3
植松光一 2
矢吹朝子 10
平井敬三 5
酒井陽三 10
浅井貴子 10
小山房子 5
高井千恵子 10
角田敬子 5
石田正一 4
水谷三枝子 2
吉田玲子 2
片桐慎一郎 2
高 40
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 21
篠和夫 5
中村賢二 7
大山美智子 3
奥澤泰一 2
新津恵子 5
伊藤由美 2
高松浩子 1
稲田和子 10
大津徳明 10
後藤繭子 2
案納邦義 10
高見和彦 2
堀江悠子 5
小川惠子 2
高橋隆就 3
植松光一 2
矢吹朝子 10
平井敬三 5
酒井陽三 10
浅井貴子 10
小山房子 5
高井千恵子 10
角田敬子 5
石田正一 4
水谷三枝子 2
吉田玲子 2
片桐慎一郎 2
高 40
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 26
山口達夫 2
寺幸夫 2
齋藤正彦 2
間中順子 5
佐々幸子 2
内藤幸子 2
高 27
山田克世 3
益村典子 5
浜田和章 2
瓜生道雄 2
木村満美子 2
平塚いづみ 2
立石和恵 2
今津正 10
城口直人 2
木元弘 2
三好康司 2
堀越和雄 5
鈴木亮 4
西澤正博 5
野村敏志 2
栗原千春 2
大藏美樹 2
坂口創 1
川島文彦 5
大藏博 2
高 38
梅田利枝 2
吉田玲子 2
長谷川政 5
蟹江慶子 1
長谷川政光 2
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 33
寺田勉 2
真田寿彦 2
高木由香 2
片山成美 2
塩川敬一 1
高 34
中山美子 3
橋本直樹 2
田代研 5
高 35
前田典昭 3
鈴木啓順 3
依田敦 2
田崎久美子 2
高 36
伊与部智子 3
綿貫美穂 5
浅見朋子 2
高 37
栗原千春 2
大藏美樹 2
坂口創 1
川島文彦 5
大藏博 2
高 38
梅田利枝 2
吉田玲子 2
長谷川政 5
蟹江慶子 1
長谷川政光 2
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 33
寺田勉 2
真田寿彦 2
高木由香 2
片山成美 2
塩川敬一 1
高 34
中山美子 3
橋本直樹 2
田代研 5
高 35
前田典昭 3
鈴木啓順 3
依田敦 2
田崎久美子 2
高 36
伊与部智子 3
綿貫美穂 5
浅見朋子 2
高 37
栗原千春 2
大藏美樹 2
坂口創 1
川島文彦 5
大藏博 2
高 38
梅田利枝 2
吉田玲子 2
長谷川政 5
蟹江慶子 1
長谷川政光 2
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 2
高 3
高 4
高 5
高 6
高 7
高 8
高 9
高 10
高 11
高 12
高 13
高 14
高 15
高 16
高 17
高 18
高 19
高 20
高 21
高 22
高 23
高 24
高 25
高 26
高 27
高 28
高 29
高 30
高 31
高 32
高 33
高 34
高 35
高 36
高 37
高 38
高 39
高 40
高 41
高 42
高 43
高 44
高 45
高 46
高 47
高 48
高 49
高 50
高 51
高 52
高 53
高 54
高 55
高 56
高 57
高 58
高 59
高 60

高 10
山岸礼子 3
小野里子 5
坂根健 2
崇島弘安 2
井出侑子 2
羽根田千賀子 5
金井欣吾 5
角原佑一 10
麻生紘二 2
中村靖 3
山田光子 3
高津幸一 10
戸田一誠 2
戸塚仁史 10
中田捷子 1
星野直子 3
石田徳子 5
平野千枝子 10
佐藤克子 5
高 14
東信彦 10
杉山博司 2
吉田登代子 2
滝沢由紀子 2
高木登茂子 10
市村悦子 2
浦田佑子 30
蔵原輝人 5
早川希予子 5
吉野秀雄 5
鈴木元 2
宮原真人 3
高 20
依田武男 2
石原信和 3
高部伸 2
山本朗 5
高 25
野村麻里 3
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 16
柱成子 2
須沼洋 1
中川洋一 3
古山靖子 2
大場修一 16
篠原正 10
飯島信枝 5
中沢勲 3
熊沢蕃 10
矢田部碩夫 3
相沢勲 30
熊倉邦彦 2
下弘明 5
荻上寿美子 5
関根宥子 10
高 13
青木泰男 2
安達宏銀 2
篠忠義 5
稲垣仁義 5
見目昭夫 3
山本章義 6
田中昇次 5
麻生紘二 2
中村靖 3
山田光子 3
高津幸一 10
戸田一誠 2
戸塚仁史 10
中田捷子 1
星野直子 3
石田徳子 5
平野千枝子 10
佐藤克子 5
高 14
東信彦 10
杉山博司 2
吉田登代子 2
滝沢由紀子 2
高木登茂子 10
市村悦子 2
浦田佑子 30
蔵原輝人 5
早川希予子 5
吉野秀雄 5
鈴木元 2
宮原真人 3
高 20
依田武男 2
石原信和 3
高部伸 2
山本朗 5
高 25
野村麻里 3
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 17
篠和夫 5
中村賢二 7
大山美智子 3
奥澤泰一 2
新津恵子 5
伊藤由美 2
高松浩子 1
稲田和子 10
大津徳明 10
後藤繭子 2
案納邦義 10
高見和彦 2
堀江悠子 5
小川惠子 2
高橋隆就 3
植松光一 2
矢吹朝子 10
平井敬三 5
酒井陽三 10
浅井貴子 10
小山房子 5
高井千恵子 10
角田敬子 5
石田正一 4
水谷三枝子 2
吉田玲子 2
片桐慎一郎 2
高 40
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 21
篠和夫 5
中村賢二 7
大山美智子 3
奥澤泰一 2
新津恵子 5
伊藤由美 2
高松浩子 1
稲田和子 10
大津徳明 10
後藤繭子 2
案納邦義 10
高見和彦 2
堀江悠子 5
小川惠子 2
高橋隆就 3
植松光一 2
矢吹朝子 10
平井敬三 5
酒井陽三 10
浅井貴子 10
小山房子 5
高井千恵子 10
角田敬子 5
石田正一 4
水谷三枝子 2
吉田玲子 2
片桐慎一郎 2
高 40
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 26
山口達夫 2
寺幸夫 2
齋藤正彦 2
間中順子 5
佐々幸子 2
内藤幸子 2
高 27
山田克世 3
益村典子 5
浜田和章 2
瓜生道雄 2
木村満美子 2
平塚いづみ 2
立石和恵 2
今津正 10
城口直人 2
木元弘 2
三好康司 2
堀越和雄 5
鈴木亮 4
西澤正博 5
野村敏志 2
栗原千春 2
大藏美樹 2
坂口創 1
川島文彦 5
大藏博 2
高 38
梅田利枝 2
吉田玲子 2
長谷川政 5
蟹江慶子 1
長谷川政光 2
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 33
寺田勉 2
真田寿彦 2
高木由香 2
片山成美 2
塩川敬一 1
高 34
中山美子 3
橋本直樹 2
田代研 5
高 35
前田典昭 3
鈴木啓順 3
依田敦 2
田崎久美子 2
高 36
伊与部智子 3
綿貫美穂 5
浅見朋子 2
高 37
栗原千春 2
大藏美樹 2
坂口創 1
川島文彦 5
大藏博 2
高 38
梅田利枝 2
吉田玲子 2
長谷川政 5
蟹江慶子 1
長谷川政光 2
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2

高 33
寺田勉 2
真田寿彦 2
高木由香 2
片山成美 2
塩川敬一 1
高 34
中山美子 3
橋本直樹 2
田代研 5
高 35
前田典昭 3
鈴木啓順 3
依田敦 2
田崎久美子 2
高 36
伊与部智子 3
綿貫美穂 5
浅見朋子 2
高 37
栗原千春 2
大藏美樹 2
坂口創 1
川島文彦 5
大藏博 2
高 38
梅田利枝 2
吉田玲子 2
長谷川政 5
蟹江慶子 1
長谷川政光 2
村澤和恵 2
磯野利香 2
高森泰人 5
高 42
鶴名山裕明 6
長岡聡子 2
中村匡宏 2
田中克典 5
山内真 3
高 43
加藤和子 2
向山綾子 1
高 47
星野伸太郎 2
宮阪俊樹 2
高 52
渡邊大地 2
井上真理子 2
上村佳希 2